

# 人が五感で感じる 本だからこその魅力



大根占小学校 / 錦江中学校  
図書 みさき 図書司書補

その居心地の良さから「第二の保健室」と例えられる学校の図書室。カーペットや畳コーナーが設置され、たつぷりの光が差し込む部屋に、木製テーブルの温もりと、独特の本の香りが混ざり合う空間が広がります。

「単に本を読む、宿題をする場所ではなく、子どもたちが安心してつるぎる、頼れる場所に」と図書室の存在を話す福園司書。この日は読書週間ポイント3倍デーで、カウンターには大勢の児童が詰めかけていました。もちろん一人で本を読む子や、数人で一冊の本を楽しむ子、会話をしたり、何もしないという時間を満喫する子どもさまざまです。本は読解力や理解力を身に付けるだけが目的ではありません。子どもたちは、声をかけても気づかないほ

ど物語に入り込み、想像をふくらませ、その主人公たちと遠い国を旅しています。壮大な冒険かもしれないし、涙がとまらない実話かもしれない。映像はありませんが、自分にかき見えない世界が広がり、それは読み返すたびに変わっていきます。

「家庭や学校生活だけの体験には限界があります。著者や主人公の考えや世界観を疑似体験することで、知識や経験の幅を広げ、感情までも体験できるのが本の大きな魅力。培った想像力は、子どもたちの持つ無限の可能性をさらに大きく広げてくれるはず」と期待を込めます。本の魅力に出会う母の読み聞かせ得られた知識は確かな判断力へ



図書ポイントカードの表紙を描きたいと図書委員に立候補した川口聖七くん（左）。6年、小牧克志くんの力作▶

…… 錦江読み聞かせグループ「きらきら」 ……

**お母さんたちが10年以上続ける読み聞かせ活動**

平成21年から続く、大根占小保護者による読み聞かせ活動。毎月の読み聞かせを通じて本の楽しさ、魅力を伝えています。昨年は県図書館大会で優良読書グループ表彰も受賞しています。

したとっておきの一冊が、全学年の教室で読まれています。昨年は県の優良読書グループにも選ばれた取り組み。「子どもたちが読んだことのない本や、学校にない本を選ぶだけでも大変だと思えます。低学年には本の楽しさを、高学年には新たな本に出会う場になっている」と、長年続く活動に手応えを感じています。膨大な情報があふれる現代。そこから確かな情報を選択し、判断する力が求められています。積み重ねた知識や想像力は、自ら考え行動する判断材料となり、なにより大きな心の支えとなるはずです。

「その日の気分で小説を選べる」

「その日の気分で小説を選べる」  
きつと物語はよりそう  
編 / 日本児童文学者協会

4~9月で 73冊  
Story  
すべてにイライラした毎日を送る中2の百合。母親とケンカをして家を飛び出し、目を覚ますとそこは70年前、戦時中の日本だった。偶然通りかかった靴に助けられ、誠実さと優しさに惹かれていく。しかし、彼は特攻隊員で命を懸けて戦地に飛び立つ運命だった。涙なしには読めないラスト。

— Book Review —  
何回も読んだお気に入りの本です。現代を生きる主人公が戦時中にタイムスリップする不思議な物語。当たり前の日常が幸せだと実感する一冊。

田代中1年 中野 桜子 さん

「偶然の出会いが未来を変える」

「偶然の出会いが未来を変える」  
流れ星キャンプ  
著 / 嘉成 晴香

4~9月で 58冊  
Story  
母が夜勤のときだけ、河原で秘密のキャンプをする圭太。心配で声をかけてきたのは、奥さんを亡くして一人で暮らしている平井さん。病院の窓からそれを見つめる明里。出会うはずのなかった、偶然のつながりが未来を変えていく3人の物語です。視点が入れ変わる構成で読み進めやすい一冊。

— Book Review —  
各キャラに特技や個性があり、それぞれの視点で物語が進むので読みやすいシリーズ。私の夢は、図書司書になって本の魅力を発信すること！

錦江中3年 大山 彩花 さん

「探偵チームKZ事件シリーズ」

「探偵チームKZ事件シリーズ」  
天使が知っている  
著 / 住滝 良

4~9月で 66冊  
Story  
KZ(カッツ)メンバーはスイスに行くことになった上杉に、それぞれの気持ちを込めたメッセージを送った。一方、秀明の数学最上級クラスで一緒に女子から告白された上杉の胸には大きな悩みが…。そんな上杉が超・国際的な大事件に巻き込まれるとは、KZの誰かが予想していなかった。

— Book Review —  
圭太が、奥さんを亡くしたおじいさん、難病で長いあいだ入院している明里の3人と天体観測や花火をするシーンが印象的。最後は号泣します！

大原小6年 野口 美羽 さん

「兵士を迎えたのは真の優しさ」

「兵士を迎えたのは真の優しさ」  
せかいでいちばんつよい国  
作・絵 / デビッドマッキー

4~9月で 150冊  
Story  
世界中の人たちを「幸せにする」ために世界征服した、ある大きな国の大統領のおはなし。力で押さえつけようとしたが、最後に勝ったのは武力ではなく人間の心でした。強者のゆがんだ考えを、明るくユーモアたっぷりに描いています。親しみやすい絵本で大切なことを伝えてくれます。

— Book Review —  
小説が大好きです。この本は6話の短編で読みやすいので苦手な人にもおすすめ。主人公になりきって物語を体験できるのが小説の魅力です。

池田小5年 川原 希菜 さん

「つながりの大切さに気づく本」

「つながりの大切さに気づく本」  
くりいむパン  
著 / 濱野 京子

4~9月で 131冊  
Story  
小学4年の香里の家には5世代9人の家族と下宿人が暮らしている。そんな香里の家にやってきた親戚の末果。父が仕事をなくし頼ってきたのだった。自分より可愛がられる末果が気に入らない香里。ある日学校で、末果がお金を拾っているという噂が……。つながりの大切さに気づく友情物語。

— Book Review —  
好きな場面は2人が大おおばあちゃんと会話しているところ。時間の流れがゆったりしていて心が温かくなります。クリームパンが食べたくなる。

宿利原6年 笑喜 小春 さん

「隠された意味に気づけるか？」

「隠された意味に気づけるか？」  
3分間ミステリー シリーズ  
著 / 黒史郎

4~9月で 152冊  
Story  
一見すると普通のお話。しかし物語の小さな違和感から推理していくと話の意味が変わっていく。普通に読んだだけでは気づけない、物語のなかの小さな違和感から推理して、物語の隠された意味を読み取ってもらう、一気読み&2度読みという噂が……。つながりの大切さに気づく友情物語。

— Book Review —  
短い物語が45話で作られているので読みやすい。違和感から推理したり、答えを見て読み返すと気づいたり、何回も読みたくなるおすすめ本！

神川小6年 竹内 陽和里 さん

「パパが家事しないから家出する！」

「パパが家事しないから家出する！」  
3人のパパとぼくたちの夏  
著 / 井上 林子

4~9月で 219冊  
Story  
父子2人暮らしのめぐるだが、父があまりにも家事をやらずに限界！夏休みが始まり家出することに決めた。家出先で出会った、さな・ひなという小さな女の子たち。その家に行くと、なぜかパパが2人も…。まるで主婦のような小6男子めぐるの、夏休みの家出を描くユニークな新作童話。

— Book Review —  
お姉ちゃんの紹介ではまった一冊です。主人公は私と同じ6年生なのに家事がすごくてできる！父と子の物語は珍しいのでみんなに読んでほしい。

大根占小6年 岩留 菜夏 さん